

R4年度「新規事業創出イノベーションプログラム」： 実施プログラム

	VFA(L):コースのみ	VFA(L&M)	講義・講演	ディスカッション	チーム・ワーク
	日付	セッション1:(10:30-12:00)	セッション2:(13:00-14:30)	セッション3:(14:45-16:15)	
第1回 ハイブリット	5/14 (土)	入塾式・カリキュラム説明 特別講演:野口 謙吾 氏	Check-in & 自己紹介 講師: 廣川克也	パネルディスカッション (コーディネーター)	
第2回	5/28 (土)	VFA(L):オリエンテーション 講師:菅生 達仁 氏	講義:アントレプレナーシップとは何か 講師: 廣川克也 氏	講義:ビジネス・スプリングボード① 「未来を描く、課題に向き合う」廣川氏	
第3回 ハイブリット	6/11 (土)	講義:ビジネス・スプリングボード②「価値の 確立」講師: 廣川克也 氏	講義:トライセクター戦略:企業と行政の連携による新価値創造 講師:小松 洋介 氏		
第4回	6/25 (土)	VFA(L):課題とアイディエーション 講師:菅生 達仁 氏	アイデア創出ワークショップ 講師: 廣川克也 氏		
第5回	7/9 (土)	VFA(L):顧客インサイト 講師:菅生 達仁 氏	講義: Idea, Passion, Start with WHY 講師: マンジョット・ベディ 氏	チーム・ワーク (チームビルディング)	
第6回	7/23 (土)		フィールドワーク@山形県 最上地区 現地視察		
合宿 ハイブリット	7/24 (日)	フィールドワーク@山形県 最上地区 アイデア創出WS, ビジネスアイデア発表			
第7回 ハイブリット	8/6 (土)	VFA(L&M):ビジネスモデル 講師:菅生 達仁 氏	講義:ビジネス・スプリングボード③ 「事業を構築する」廣川克也 氏	特別講演 SCSK(株) 執行役員 古宮 浩行 様	
第8回 ハイブリット	8/27 (土)	講義:グローバル・リーダーシップ 講師:谷本 有香 氏	講義:人を動かすプレゼンテーション 講師: 武田 昌大 氏	チーム・ワーク	
第9回	9/10 (土)	VFA(L&M):マーケティング1 講師:菅生 達仁 氏	地域活性化と事業開発:ケースディスカッション「いろいろ」 講師: 廣川克也 氏		
第10回	10/2 (日)	VFA(L):マーケティング2 講師:菅生 達仁 氏	中間発表		
第11回 ハイブリット	10/8 (土)	VFA(L):競争優位 講師:菅生 達仁 氏	講義:実践的知的財産活用術 講師: 田中 雅敏	チーム・ワーク	
第12回	10/22 (土)	起業家による講演	意思決定とコミュニケーション「ケーススタディ:宇宙船α号」 講師: 廣川克也 氏		
第13回 ハイブリット	11/5 (土)	VFA(L):ファイナンス 講師:菅生 達仁 氏	講義:マーケティングの最前線 講師: 白根 有一 氏	チーム・ワーク	
第14回	11/19 (土)	講義:企業経営の基本 講師:小野寺 忠司 氏	講義:ベンチャーファイナンス 講師:菅谷 常三郎 氏	講義:技術革新からの事業創造 講師: 廣川克也 氏	
第15回	12/3 (土)	アントレプレナーシップの真髄「October Sky」 講師: 廣川克也 氏		チーム・ワーク	
第16回	12/17 (土)	講義:グローバル戦略 講師:川島 健一	最終発表&まとめ		

R4年度「新事業創出イノベーションプログラム」：受講された方の声

- プログラムについて、**多彩な講師陣**から、**事業や起業について1から実例・実体験を踏まえて学ばせていただける**こと、また、講義にとどまらず**実際にプラン化・事業化がプログラム内で可能となっていく**ことが非常に魅力であると思います。
- 講義で**ビジネススキーム**を学び直ぐに**ビジネスプラン作成できる**ところが、他の研修との大きな違いで、大きな学びとなった。
- とてもいい経験をさせてもらいました。
考え方や**グループディスカッションでの良いやり方を学ぶ**ことができました
- 16回の講習で多くの気づきを得ました。**企業の中**に**いるだけでは、感じなかったことを経験することが**できました。ここで学んだことを新規事業にしっかり活用していきます。**具体的に自分がどう動くのか明確にイメージできるようになった**のも、大きな成果だと考えます。
- i-HOPEは大学生にはとても刺激的で充実したプログラムだった。自分の場合、大学やアカデミックといった狭い世界しか見えていなかった節があり、**外の社会はどうなっているのか、どんな人が活躍しているのかなどを知る**ことができた。もちろんファイナンスやマーケティングなど専門的な部分は一度の講義で咀嚼しきれないこともあったが、それも実際に事業を進めていく中で理解していくのだろう。また、**心強い人脈のコネクションを得る**ことができた。全体を通し、挑戦的であるが充実したプログラムだった。

R4年度「新規事業創出イノベーションプログラム」：ご参加企業

	企業名	所在地	受講生		企業名	所在地	受講生
1	SCSK株式会社	東京都	5	17	株式会社YCC情報システム	山形県 山形市	2
2	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	東京都	4	18	ミクロン精密株式会社	山形県 山形市	2
3	レノボ・ジャパン合同会社	東京都	3	19	(株)ASAHI Accounting Robot 研究所	山形県 山形市	1
4	株式会社NSFエンゲージメント	東京都	2	20	株式会社鈴木製作所	山形県 山形市	1
5	沖電気工業株式会社	埼玉県	2	21	リンベル株式会社	山形県 山形市	1
6	株式会社ソリトンシステム	東京都	1	22	ネットヨク山形株式会社	山形県 山形市	1
7	株式会社 シュヴァルベル	東京都	1	23	遠藤商事株式会社	山形県 山形市	1
8	テクノ・マインド株式会社	宮城県 仙台市	2	24	ヤマガタエンジニアリング株式会社	山形県 山形市	1
9	株式会社バイタルネット	宮城県 仙台市	1	25	株式会社フードクリエイションジャパン	山形県 山形市	1
10	株式会社コサカ	宮城県 仙台市	1	26	山形市	山形県 山形市	1
11	有限会社シルクコーポレーション	福島県会津若松市	1	27	株式会社アルファ・コム	山形県 山形市	1
12	世紀株式会社	山形県 米沢市	2	28	中野鉄工株式会社	山形県 鶴岡市	1
13	NECパーソナルコンピュータ(株)	山形県 米沢市	1	29	株式会社イタガキ	山形県 三川町	1
14	マクセルフロンティア株式会社	山形県 米沢市	1	30	アヒコファインテック株式会社	山形県 新庄市	1
15	松田総合企画(株)	山形県 米沢市	1	31	株式会社JPD	山形県 新庄市	1
16	株式会社山本製作所	山形県 東根市	1	32	蔵王米菓株式会社	山形県 村山市	1
				33	株式会社クワイート礼文	山形県 山形市	1

平均年齢：39.3 歳				役職		
50歳台	40歳台	30歳代	20歳代	役員	部長/課長	他
5	20	16	7	8	19	21

合計：48名

R4年度「新規事業創出イノベーションプログラム」：ご参加大学・学校

	大学名・学校名	受講生		大学名・学校名	受講生
1	山形大学	20	9	早稲田大学	11
2	山形大学大学院	2	10	早稲田大学大学院	1
3	東北芸術工科大学	3	11	法政大学	1
4	山形県立産業技術短期大学校	1	12	東京理科大学	6
5	山形県立米沢工業高等学校専攻科	1	13	東京理科大学大学院	2
6	福島大学	2	14	東京都立産業技術大学院大学	1
7	東京大学大学院	1	15	滋賀医科大学	3
8	東京農工大学大学院	1			

大学				大学院				
B1	B2	B3	B4	M1	M2	D1	D2	D3
14	6	13	10	4	5	1		1
短期大学		専攻科						
B1	B2	1年	2年					
1		1						

合計：56名



小野寺 忠司

山形大学 教授

アントレプレナーシップ開発センター長

- ・1982年4月 日本電気入社
- ・NECパソコン開発に配属され、NEC初のPC98ノートの開発を皮切りに、PCの開発のリーダーとして商品開発に従事。世界初のフラグシップ商品のTFT液晶ノートPCや水冷PC、テクノロジー商品開発に従事し、その後、商品企画部門に移動して商品企画に従事。数々のヒット商品を手掛ける。特に一体型では前代未踏のヒット商品を生み出すなど、NECノートパソコンの基盤を作る。
- ・2012年、NECパーソナル執行役員を経て、レノボ役員に就任。その間、世界最軽量PC開発ではBest of CES Awards 2015” ベストPC賞を25個受賞。
- ・新たな取り組みとして人工知能開発をSRI（旧スタンフォード大学研究所）と共同開発し、事業化。
- ・SRIからのサポートを受け、地域でのイノベーション活動を行うNPO法人である、YRI（Yリサーチイノベーション）を立ち上げる。
- ・2017年4月レノボを退職して山形大学へ。国際事業化研究センター長（教授）、有機材料システム事業創出センター長に就任。イノベーション創出に向けて活動やアントレプレナー教育、企業経営指導、起業家育成教育を行い約5年間で16社のベンチャーを立ち上げた。
- ・2022年4月 小白川キャンパスに新たにアントレプレナーシップ開発センターを立ち上げ、センター長に就任。



廣川 克也

山形大学 客員准教授
一般社団法人SFCフォーラム 事務局長
SFCフォーラムファンド ファンドマネージャー

三井住友銀行（1993-2004）、北海道大学（2004-2005）を経て、慶應義塾大学インキュベーションマネージャーとして着任（2005-2016）、起業支援、起業教育を担当。

2012年一般財団法人SFCフォーラムを設立、事務局長就任。

2017年SFCフォーラムファンドを設立、ファンドマネージャー就任。

大企業勤務、中央官庁勤務、数度の転職と起業、投資家、上場企業役員経験を持つ。海外学生ビジネスコンテストにアドバイザーとして参加、2009年、2010年にはGlobalTic@台湾でアジア最優秀賞、2009年I2P Global Competition ではチームを世界一に導く。2011年よりアメリカ大使館と連携して全国の学生を対象にした起業家セミナーを開催、これまで3,000人以上の学生のサポートを実施。

国、地方自治体、企業、大学などと連携した起業・地域活性・人材育成に関するセミナー等を多数手がけている。



戸田 達昭

山形大学 客員准教授
シナプテック(株)代表取締役CEO
ビジョナリーパワー(株)代表取締役CEO
元中央教育審議会委員

1983年 静岡県藤枝市生まれ。

山梨大学大学院在学中に起業した山梨県初の学生起業家。

卒業後にバイオベンチャー企業「シナプテック株式会社」を設立し、代表取締役に就任。一方で産学官民協働による地域づくりに取り組み、第6期中央教育審議会生涯学習分科会委員をはじめ、教育関連機関や地域市民団体の代表や委員を務める。また起業・創業の分野に力を注いでおり、アクセラレーターとしても活動中。



菅生 達仁

山形大学 客員教授
コロンビアビジネススクール
Venture For All®Program専任講師
株式会社ライズベース代表取締役

一橋大学大学院国際企業戦略研究科修了（MBA）。
米ゼネラル・エレクトリック社（GE）や蘭フィリップス社等、主に外資系企業において新規事業開発や営業・マーケティング、リーン、シックスシグマ、チェンジマネジメントなどの事業改善・トランスフォーメーション推進など、トップラインの成長推進からオペレーションの適正化まで、幅広い経験をする。また2015年よりコロンビアビジネススクールとパートナーを組み、経営を学ぶ裾野を広げるVenture For All® Programのプログラムディレクターとして日本で展開し講師を務めている。

さらに年間40件程度のビジネスプラン構築の指導や国内外を代表する企業の研修プログラムの構築と講師も務め、「教育×ビジネス」という軸で幅広く活躍。
そして、起業家としての顔も持ち、人材育成を担う会社を2社起業している。



小松 洋介

山形大学 リエゾンアドバイザー
特定非営利活動法人アスヘノキボウ代表

1982年仙台市生まれ。
新卒でリクルートに入社。在籍中に東日本大震災が起き、「地元の復興に役立ちたい」という想いから退職。宮城県内全ての被災地を3ヶ月間毎日訪問し、女川町で活動することを決意。女川町復興連絡協議会にて、復興計画提言書の作成や再建・起業支援を行う。

2013年4月に特定非営利活動法人アスヘノキボウを設立、2014年4月には女川町商工会職員として、まちづくり担当を兼任。

2019年よりVenture For Japanを立ち上げ。



マンジョット・ベディ

山形大学 招聘講師

株式会社just on time代表取締役社長
株式会社next is east代表取締役社長

インド・ニューデリー生まれ。

外交官の父の仕事で、2歳より世界各地を巡り、17歳で来日。

1997年、広告会社の株式会社ティー・ワイ・オーに入社。クリエイティブ・ディレクターとして数々のCMを制作。

2006年より、同社クリエイティブ・チーム“1st Avenue”の代表として、トヨタ自動車をはじめとした、日本企業の新興国戦略などに携わる。

2012年、TYOのクリエイティブ部門の統合により、03（ゼロスリー）へ所属。

クリエイティブ・ディレクターに留まらず、プランニングから演出、そして、ムービー・スチルのカメラマン、照明まで、一貫したクリエイティブを手がけ、日本のみならず、活躍のフィールドは、世界各地に携わる。

2017年、新会社「just on time」を設立。代表取締役社長として、将来を見据えた新しいクリエイティブ・ブティックのあり方を提唱・実践し、業界に新たな潮流を吹き込む。



谷本 有香

Forbes JAPAN 執行役員 Web編集長

証券会社、Bloomberg TVで金融経済アンカーを務めた後、2004年に米国でMBA

を取得。その後、日経CNBCキャスター、同社初の女性コメンテーターとして従事。

これまでに、トニー・ブレア（元英首相）、ハワード・シュルツ（スターバックス元会長兼CEO）をはじめ3,000人を超える世界のVIPにインタビューした実績あり。

テレビ朝日「サンデースクランブル」、フジテレビ「ユアタイム」、TBS「ビビット」、Abema TV「AbemaPrime」「けやきヒルズサタデー」のコメンテーターはじめ多数のテレビ番組に出演。

2016年2月よりForbes JAPAN 副編集長 兼WEB編集長。同年4月より跡見学園女子大学兼任講師就任。また、ロイヤルハウジング株式会社上席執行役員も務める。



武田 昌大
トラ男米プロデューサー
シェアビレッジ村長

1985年秋田県北秋田市生まれ。
2008年立命館大学情報理工学部卒業。
秋田の農業の未来に危機感を持ち、若手米農家集団トラ男（トラクターに乗る男前たちの略称）を結成。
お米をつくる人と食べる人が共に支え合うコミュニティ「トラ男一家（ファミリー）」を立ち上げ、お米の定期購入サービスを運営している。
また2015年、秋田県五城目町にある築133年の茅葺古民家をリノベーションして会員制のゲストハウス「シェアビレッジ」をオープン。
2015年、グッドデザイン賞ベスト100・特別賞地域づくりデザイン賞受賞。
全国に残る古民家を村に変えることで都市と田舎を新たなつながりを拡大中。



田中 雅敏
明倫国際法律事務所 代表
弁護士・弁理士

1994年3月に慶応義塾大学卒業。
1999年4月に司法修習修了（51期）、弁護士登録（福岡県弁護士会）。
2001年3月に弁理士登録。
2002年4月に田中法律事務所設立。
2010年1月に明倫国際法律事務所（旧 明倫法律事務所）設立。
代表パートナー弁護士就任。
主として中小企業の海外進出案件や知的財産関連案件、労働案件などを取り扱う。
海外進出案件は年間200件程度、知的財産および労働案件は年間80件程度を取り扱う。



白根 有一

ジョルダン株式会社 戦略企画部長
元（公社）日本マーケティング協会 研究開発局長
元電通EYE常務取締役

1979年国際基督教大学卒業（国際経済学・コミュニケーション論）。
同年、株式会社電通入社コピーライター・CMプランナーを経てクリエイティブディレクター、
シニアクリエイティブディレクターを歴任。

途中1997年～2005年株式会社電通EYE常務取締役エグゼクティブクリエイティブ
ディレクター。

2005年～2006年株式会社電通東日本取締役コミュニケーションデザイン本部長。
その間東京国際大学非常勤講師。成城大学非常勤講師を務める。

その後株式会社電通第2クリエイティブプランニング局次長・シニアクリエイティブ
ディレクター。

2014年（公社）日本マーケティング協会への出向。その後、現職



菅谷 常三郎

山形大学 客員教授
みやこキャピタル代表取締役
元JAFCO Ventures President & CEO

現在のジャフコアアメリカ（ICON Ventures）を創業。

ジャフコアアメリカは全米トップ25VCとして評価され（The Top 25 VC Firms
2013, AlwaysOn）、個人としても日本人初のトップ100VCキャピタリストにランク
イン（The Top 100 Venture Partners on the planet 2013, AlwaysOn）。

1999年以降、米国シリコンバレーで6つのVCファンド（総額約1,400億円）の設立・
運営に携わり、全てのファンド（JAV M.A.III, JTP, JTP2, JTP3, JTP4, JTP5）の
ゼネラル・パートナーを務め、投資先の社外取締役、ビジネスサポート、資本政策、買収
提案等を行いファンドパフォーマンスを高めた。

ジャフコの執行役員、ジャフコアアメリカのPresident&CEOを歴任し、2015年より
みやこキャピタルに参画。



野口 健吾

山形大学 客員教授
三井住友信託銀行 取締役副社長
NES株式会社 取締役
慶応義塾大学SFC研究所 上席研究員

大手総合商社、製造業、サービス業等、多岐に亘る業界の融資担当を経て、ストラクチャードファイナンス、クレジット投資業務に従事。
また、VCファンド運営会社の役員、プライベートエクイティファンドの投資委員、諮問委員会メンバー等を歴任し、企業の成長サポート業務にて実績を上げる。
都市部、地方の区別なく、社会の身近な課題から世界共通の社会課題解決に資するアイデアをビジネス化していく教育基盤と資金サポートを提供していくという思いから、株式会社レジェンド・パートナーズとNES（Network and Expertise for Society）株式会社を共同設立し創業メンバーの一人として取締役就任。



福崎 康平

クックパッド株式会社Japan CEO

大学在学中に、東日本大震災の被災者に在宅を無償貸与できる「roomdonor.jp」を立ち上げ、メディアや政府関係者からも注目を集める。
在学中に35カ国をまわり、料理を振る舞う旅を実施。
2014年コーチ・ユナイテッド入社。
先生と生徒のマッチングサービス「cyta.jp」を運営。2016年2月同社代表取締役。
2018年1月クックパッド入社。買物事業部部長、執行役を経て2020年9月に、日本事業の総責任者であるJapan CEO就任。



デビット・ベネット

山形大学 客員教授

Tenstorrent

Chief Customer Officer (最高顧客責任者)

カナダに本社を持つAI向け半導体設計のスタートアップであるテンストレントで Chief Customer Officer (最高顧客責任者) を務める。テンストレントに入社する以前は、PCメーカーであるNECパーソナルコンピュータ、レノボ・ジャパンの代表取締役社長として2017年から2022年まで日本に在住。最先端のAIから、eスポーツ、1980年代のレトロゲームまで、テック全体に広範な知識を持つ。2018年12月より山形大学の客員教授となり、グローバルビジネスマネジメントを山形の若きアントレプレナーに教える。

学生時代から日本の古典文学に親しみ、流暢な日本語を操る。好きな作品は『土佐日記』『古今和歌集』。国文法や古典の知識を生かした著書『外資系社長が出合った不思議すぎる日本語』(KADOKAWA) を2020年6月に上梓。

1979年ジャマイカ生まれ



渡辺 広之

山形大学 客員教授

京都芸術大学芸術教養センター 客員教授

HIRO SOCIAL PRODUCE LAB代表

株式会社電通において、国、自治体、企業、国連のイベントプロデュース及び、地域及び都市の活性化、国家戦略プロジェクトにおけるソーシャルデザインのプロデュース、アドバイザー、委員を多数経験。

前京都芸術大学情報デザイン学科長兼教授、前一般社団法人DMO日光代表理事、

元東京都市大学特別教授、元上海大学兼務教授、元東北公益文科大学非常勤講師、

元株式会社電通 事業共創局都市戦略・産業創生部プロデューサー、

元KYOTO STEAM事業創発部会長、元アーツカウンシルTOKYO広報評価委員。

現在は、東武トップツアーズ顧問、ぴあアドバイザー、全国地方新聞社連合会主任研究員、

一般社団法人おもてなしICT協議会顧問、公益社団法人街のあかり選考委員、

電通横浜プロジェクトアドバイザー、山口県宇部市アドバイザー、

一般社団法人秋葉原DXエンターテインメント協会顧問、

川崎市都市緑化フェア実行員会幹事、いばらき大使等にて活動。